

実験で苦しめられる 動物たちを助けよう!

動物実験ってどんなもの?

動物実験とは、動物の体を使って、さまざまなことを調べることです。動物たちに化学物質を飲ませたり、体を傷つけたり、無理やり病気にさせたりします。動物たちは、ひどいことをされて、痛くて怖い思いをします。そして、最後には殺されてしまうのです。



いろんな種類の動物たちが実験に使われている



実験に使われる動物たちは太陽の光や自然の風も入らない部屋の中の冷たい檻に閉じ込められて、人間に愛されることも知らず、死ぬまで一生、外に出られない。広い世界を探検したり、自由に走り回って遊ぶこともできない。

私たちの身近にある動物実験

薬、食べ物、化粧品など、私たちの身近なものを作っている会社の多くでは、「安全かどうかを調べる」という理由で、動物実験を行っています。また、医学、科学の研究所や大学などでも動物実験を行っているところがたくさんあります。私たちが暮らす社会のさまざまなところで動物実験が行われているのです。



なぜ動物実験はダメなの？

動物実験をやめないといけない大きな理由は、2つあります。

1つめは、動物も人間と同じように、痛みや苦しみ、ストレスを感じるからです。

動物を実験に使うというのは、動物たちにとって、とてもざんこなことです。

2つめは、動物実験では人間の代わりに動物が使われていますが、人間と動物は体の作りが違うので、動物実験のデータの多くは、人間にあてはまらないからです。

動物を使わない実験方法

動物実験はとてもざんこなので、世界中で動物実験に反対する人が増えています。

たくさんの方が動物のために声をあげた結果、動物を使わない実験方法「代替法」が研究されるようになりました。「代替法」なら、動物たちを苦しめたり殺したりしないで実験ができるのです。

今では、人間の細胞やコンピューターなどを使った、いろいろな「代替法」ができて、実際に動物実験の代わりに使われるようになってきています。そして、この「代替法」の発展によって、化粧品や食品の動物実験や学校での解剖実習を禁止した国もあります。

私たちが動物実験のことを知り、
「動物実験をやめてほしい」「動物を使わない代替法を広めよう」と
声をあげていくことで、動物を苦しみから救い、
ざんこな動物実験をなくすことができるのです。

動物たちのためにできること

- 1 家族や友だちなど、周りの人たちに動物実験のことを伝えよう！
- 2 みんなの身の回りのものを作っている会社を調べて、「動物実験をしていますか？」と聞いてみよう！
- 3 動物実験をしている会社には「動物実験をやめてほしい」と声を届けよう！

JAVA NPO法人動物実験の廃止を求める会
JAPAN ANTI-VIVISECTION ASSOCIATION

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町29番31号 清桜703
TEL: 03-5456-9311 FAX: 03-5456-1011
URL: <https://www.java-animal.org> E-mail: java@java-animal.org



※JAVAは特定の企業・施設・団体に賛同を求めたり、PRを行うものではありません。

JAVAは1986年に設立された全国規模の市民団体です。動物実験の実態と、その倫理的・科学的な適性を広く知らせ、動物実験の廃止を目指す活動を柱に、動物の権利擁護と動物の命を守る活動を活発に行っています。世界100以上の動物保護団体とネットワークを持ち、世界有数の団体が組織された国際動物保護委員会(ICAP0)にはアジア地域で唯一のメンバーとして参加するなど、国内外の動物問題に積極的に取り組んでいます。